

## ⑦「まとめ」



# マネーアドバイザー・西崎 努の 「高校生のための金融リテラシー講座」



注：この資料は金融庁作成資料より抜粋し、作成しています

# 目次

- 
- 1 家計管理とライフプランニング  
～働いて「稼ぐ」とことと将来設計について

---

  - 2 「使う」

---

  - 3 「備える」～ 社会保険制度と民間保険

---

  - 4 「貯める・増やす」～ 資産形成

---

  - 5 「借りる」

---

  - 6 金融トラブル

---

  - 7 まとめ
-

## 7. まとめ①

- (1) **ニーズとウォンツ**に分けて、お金を賢く使いましょう。

---
- (2) 家計管理をしっかりと行い、**貯蓄できる仕組み**を作りましょう。

---

自分が人生でやりたいことを考え、**ライフプラン**を立てましょう。
- (3) また、「教育」「住宅」「老後」という人生の**3大費用**を計画的に準備しましょう。

---
- (4) ライフプランに合わせて、**社会保険、資産形成、民間保険**の利  
用を組み合わせましょう。

---
- (5) **金融商品の特徴**を理解し、目的別に金融商品を活用し、将  
来に向けて準備をしましょう。

## 7. まとめ②

- (6) 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。
- 
- (7) お金を借りる際には、事前に**返済のイメージ**を持ちましょう。**金利や借り過ぎには注意**が必要です。
- 
- (8) **金融トラブルの手口**を知り、トラブルを避けましょう。トラブルに遭遇してしまったら、**188番**に電話して相談しましょう。
- 
- (9) **キャッシュレス**の活用が進んでいるように、これからも新しい金融商品・サービスがでてきます。今後も必要な知識を身につけ、うまく活用しましょう。
- 
- (10) この講座をきっかけとして、みなさんが少しでも「**金融**」に興味を持ってくれたら幸いです。

# 西崎努（にしざき つとむ）

## リーファス株式会社

2007年にSMBC日興証券に入社、CFP資格も保有する全国トップセールスとして活躍し、シンガポール・ロンドンでの海外研修も経験。帰国後はIPOや公募増資等の引受業務に従事する。2017年に独立し、リーファス株式会社を設立。

資産形成層から富裕層まで幅広い相談者へアドバイスを提供している。

また、昨今話題となっている、学生向けの金融教育について、実際に教鞭を取る家庭科の先生方を支援するための「全国家庭科教育協会（ZKK）」の賛助会員となり、投資教育のサポートの一端を担うプロフェッショナルとして信頼をおかれている。



# 注意事項



金融商品を対象とした投資には、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場・その他の指標にかかる変動を直接の原因として、価格が変動するリスクにより、損失を被ることがあります。また、信用リスク・流動性リスク・権利行使期間・契約解除期間の制限などを原因としても、損失を被るリスクが伴います。外貨建て投資では、為替相場の変動により、円貨で計算した場合に投資元本を割り込み損失を被ることがあります。

- 本資料は、ここに記載された有価証券、サービスその他の商品に関連して直接または間接に発生しうる全てのリスクその他の重要事項を特定、開示または示唆するものではありません。実際に投資をなされる場合は、目論見書、契約締結前交付書面、その他商品説明資料などを入手され、取引条件、リスク要因などを十分にご確認ください。
- 本資料は、ご投資家の皆様に対して、投資に関する一般的な情報の提供を目的として作成されたものであり、記載されているデータまたは意見や予測は、金融商品の売買の勧誘等の意図は一切含むものではありません。本資料のデータは各種の信頼できる情報源から入手したものです。その正確性を保証するものではありません。過去のデータは必ずしも将来の動向を示唆するものではありません。将来的に期待したリターンが得られるとは限らず、実際の収益を確約するものではありません。
- 本資料に記載された有価証券、サービスその他の商品を、常にお客様に提供することをお約束するものではありません。本資料に記載された有価証券、サービスその他の商品の中には、投資経験と知識が豊富なお客様のみにも適合するリスクの高いものも含まれていることをご了承ください。実際に投資する際は、お客様の財産 状況や投資目的などに照らし、必要に応じて第三者の専門家(弁護士・会計士・税理士等)のアドバイスを受けるなど、ご自身の適合性について十分ご検討くださるようお願い申し上げます。
- 本資料は、一般に公開されないお客さまのための情報であり、お客様におかれましては弊社に断りなく、お客さまの本件関係者以外の方へ本資料の内容を開示し、そのコピーを交付することはご遠慮くださるようお願い申し上げます。
- 弊社（金融商品仲介業者）は、所属金融商品取引業者等の代理権を有しておりません。また、いかなる名目によるかを問わず、その行う金融商品仲介業に関してお客様から金銭若しくは有価証券の預託を受けることはありません。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。